

交流と絆を確かめた  
姉妹都市縁組50周年記念式典

関秘書広報室 ☎32-2026



きっと、つながってる  
もっと、つながっていく  
津山と宮古島 (「未来宣言」より)



8月2日、ベルフォーレ津山で「宮古島市・津山市姉妹都市縁組50周年記念式典」が開催され、両市の市長を始め、関係者約600人が50年の歩みを振り返り、友好と絆をさらに深めました。

式典では、宮地津山市長が「両市の交流は大きな財産であり、50周年を機に両市の絆が一層深まることを願いたい」、下地宮古島市長が「両市の友好関係を一層促進する新たな旅立ちの日としたい」とあいさつをし、堅い握手を交わしました。

また、姉妹都市縁組のきっかけとなり、宮古島市との交流を続ける南小学校の児童が「わたしたちは、かけがえのないきずなを大切に、これからも交流していきます」と次の100年に向けた「未来宣言」を行うと、会場からは、割れんばかりの満場の拍手が送られました。

### 津山納涼ごんごまつりでも、宮古島が大人気

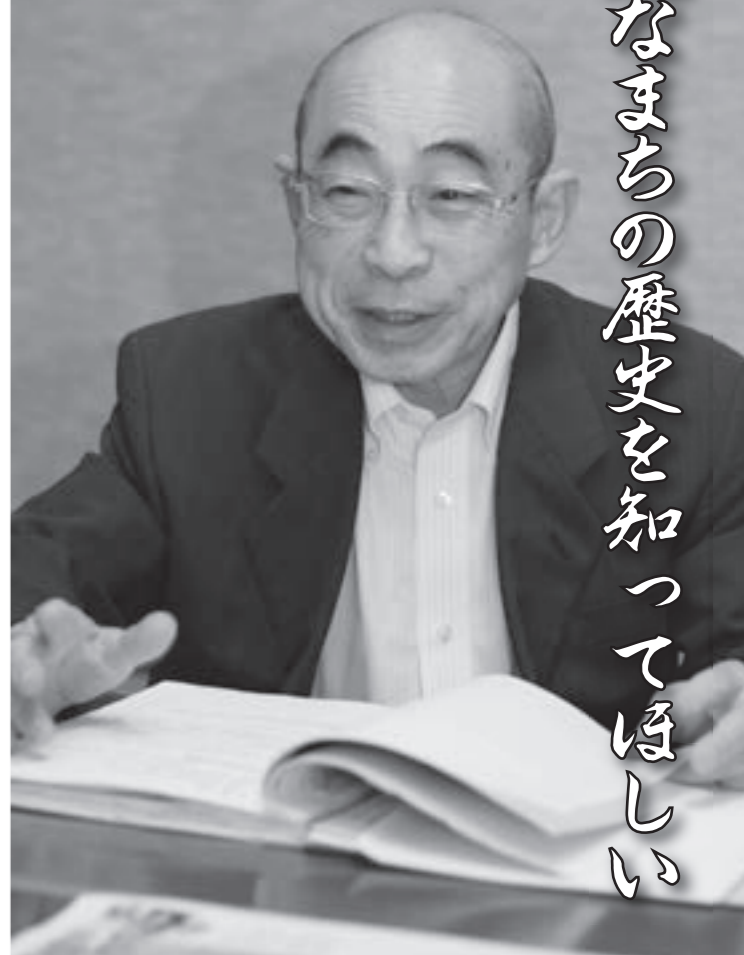
8月2・3日に行われた津山納涼ごんごまつり IN 吉井川の会場では、宮古島の観光と物産展のブースが設けられ、宮古島産の物産の販売が行われました。

特に、マンゴーシャーベットや宮古そばには、長い行列ができ、参加者は、南の島の味を楽しみました。



# きらめく 津山人

森忠政公報恩会 会長  
牧山 政雄さん(田町)



身近なまちの歴史を知ってほしい

本年4月、初代津山藩主・森忠政を顕彰し、地域の歴史や文化を見つめ直すために「森忠政公報恩会」を設立した牧山さんにお話を伺いました。

**森忠政公報恩会を設立したきっかけは？**

昨年、森忠政公の380回忌や森家の菩提寺である本源寺の国指定重要文化財への登録、さらに、美作国建国1300年という節目を迎え、本源寺の御霊屋や森家大名墓などが広く一般に公開されました。

その際、地域の人たちから「地元でこのような歴史ある寺院があったとは知らなかった」、「もっと、地元の歴史を知りたい」などの声が聞か

は、改めて森忠政公の功績と地域の歴史や文化を見つめ直すとういう機運が高まりました。

そこで、有志を募り、森忠政公報恩会を設立しました。

現在、津山を中心に、約200人の会員が参加しています。

**どのような活動をしていくのですか？**

毎年7月7日に行われる森忠政公の命日法要の手伝いや、城下町・津山の礎を築いた森忠政公の功績を見つめ直すため、勉強会や講演会などを行います。

また、森家が行った城下町の町割りを知るには、それ以前の歴史を知ることが必要です。さらに、森家から松平家へと引き継がれた城下町の歴史が、現代にどのように伝わっているかを知ることも、わたしたちにとって大切なことです。

そこで、森家の入封以前や封滅以後の歴史も紐解いて、みんなで勉強していきたいと思っています。

**活動を通じて、伝えていきたいことは何ですか？**

津山の歴史や文化を伝え、普段、自分たちにとっては、遠いものと感じてしまいがちなまちの歴史や文化が、案外身近なものであることを知ってほしいですね。

津山がどんなまちになったらよいですか？

津山には、長い歴史や文化などがあり、それを今に伝える歴史ある建物やまち並みが数多く残っています。それは、わたしたちにとってかけがえのない大きな財産です。この財産を、観光資源として上手に活用し、津山が観光都市としてより発展できれば良いですね。

そして、市民が郷土愛や郷土への誇りを持つことができるまちになってほしいです。



森忠政の木像に手を合わせる牧山さん

穏やかな表情で、津山の歴史や文化を守り伝えていくことの大切を語る牧山さん。一人でも多くの人に津山の歴史や文化が伝わるといいですね。